

ようこそ！洲本プロジェクトへ
「おもろいにやらんか」

since 2013

洲本市域学連携事業の これまで・これから

洲本市役所企画情報部企画課 高橋 壱

656-8686 兵庫県洲本市本町三丁目4番10号

Hajime_Takahashi@city.sumoto.lg.jp

bankalanka.com senka-sumoto.com

電話 0799-24-7614 FAX 0799-23-2340

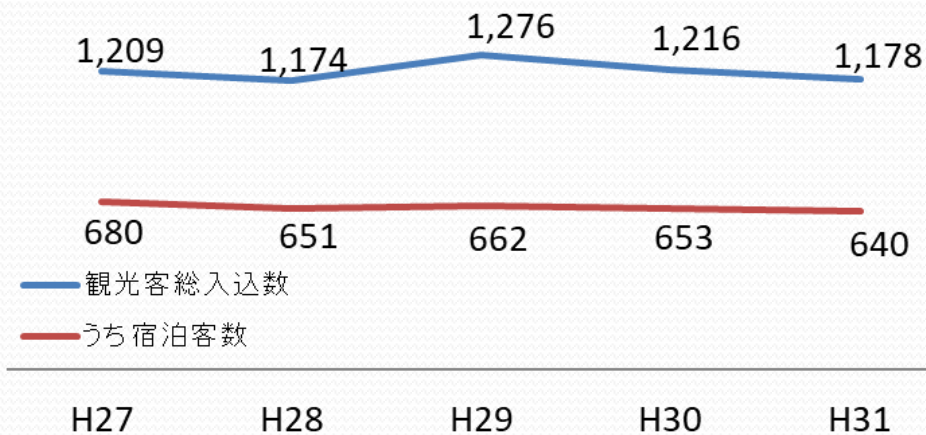
洲本市の紹介

- 面積182.38km²
57%が山林(林業はほとんど無い)
- 瀬戸内海気候
- 人口約44千人
- 高齢化率35.1%

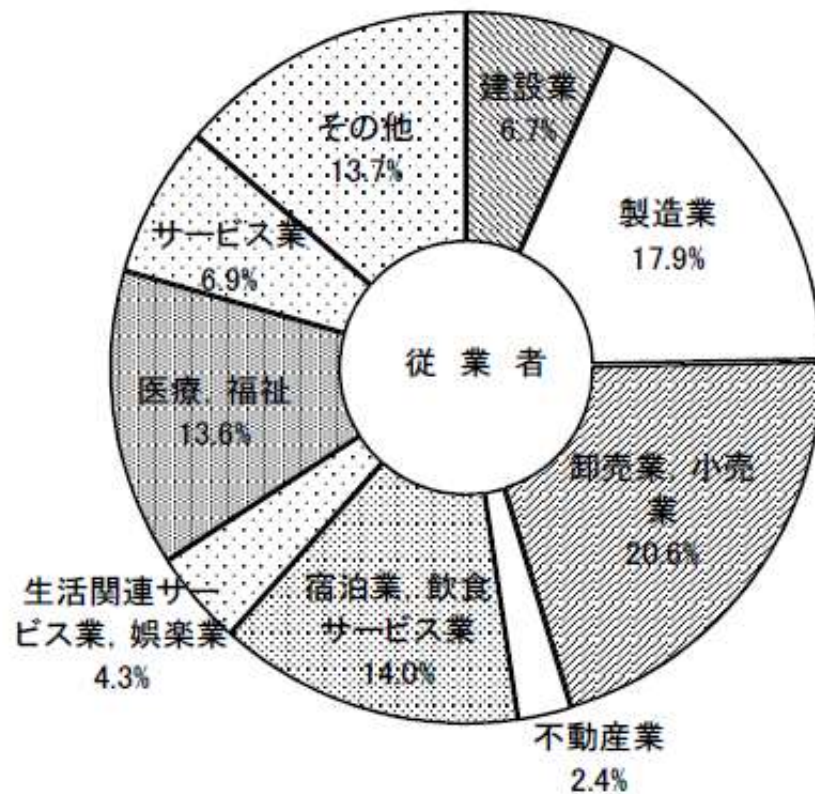


洲本市の紹介

洲本市観光客数(千人)



産業別従業者構成比—民営—
(平成26年7月1日)



洲本城と登り石垣



複合レジャー施設 ウェルネスパーク五色



淡路橋立 成ヶ島



西海岸の夕日



近代化産業遺産(カネボウ紡績工場跡)



淡路富士(先山)と菜の花畑



「域学連携（産学官連携）」の広まり

「域学連携」地域づくり活動とは

- 大学生と大学教員が地域の現場に入り、地域の住民やNPO等とともに、地域の課題解決や地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化や人材育成に資する活動。
- 地方自治体の**4**割が現在取組。
- 活動に要した経費のうち地方公共団体負担分に対して特別交付税措置（H22年度から）⇒**127**団体に措置

意義

大学及び地域の双方にメリット

地域のメリット

- ・大学に集積する知識や情報やノウハウが活かされる
- ・地域で不足する若い人材力を活用
- ・地域の活性化

- ・学生や地域住民の人材育成
- ・実践の場が得られる
- ・教育・研究活動へのフィードバック

大学のメリット

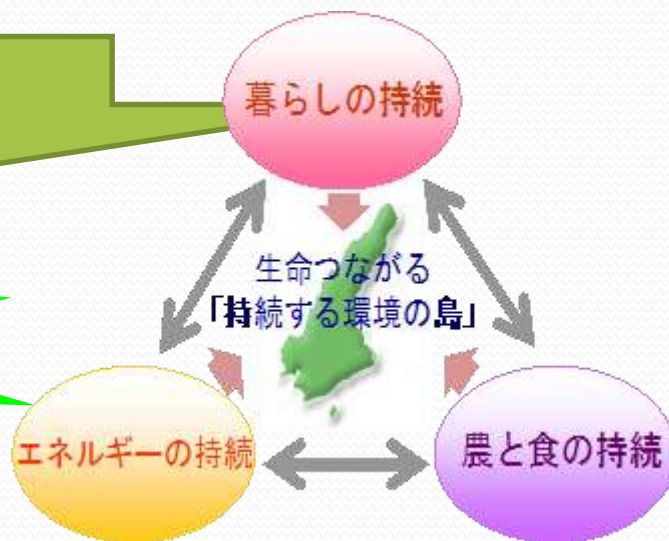
洲本市域学連携事業のテーマ・目的

グリーン&グリーン（農漁業資源&再エネ資源）の活用がテーマ。都市部大学の学生や教員がフィールドワーク合宿等を開催。市内の住民や団体と連携・交流しながら、以下に関する調査・検討・実践を行う。

豊かな自然や文化、農漁業と食、再生可能エネルギー等の地域資源を活用した新たな事業モデルの構築

新たな事業モデルを有機的に連携させたツーリズムの構築

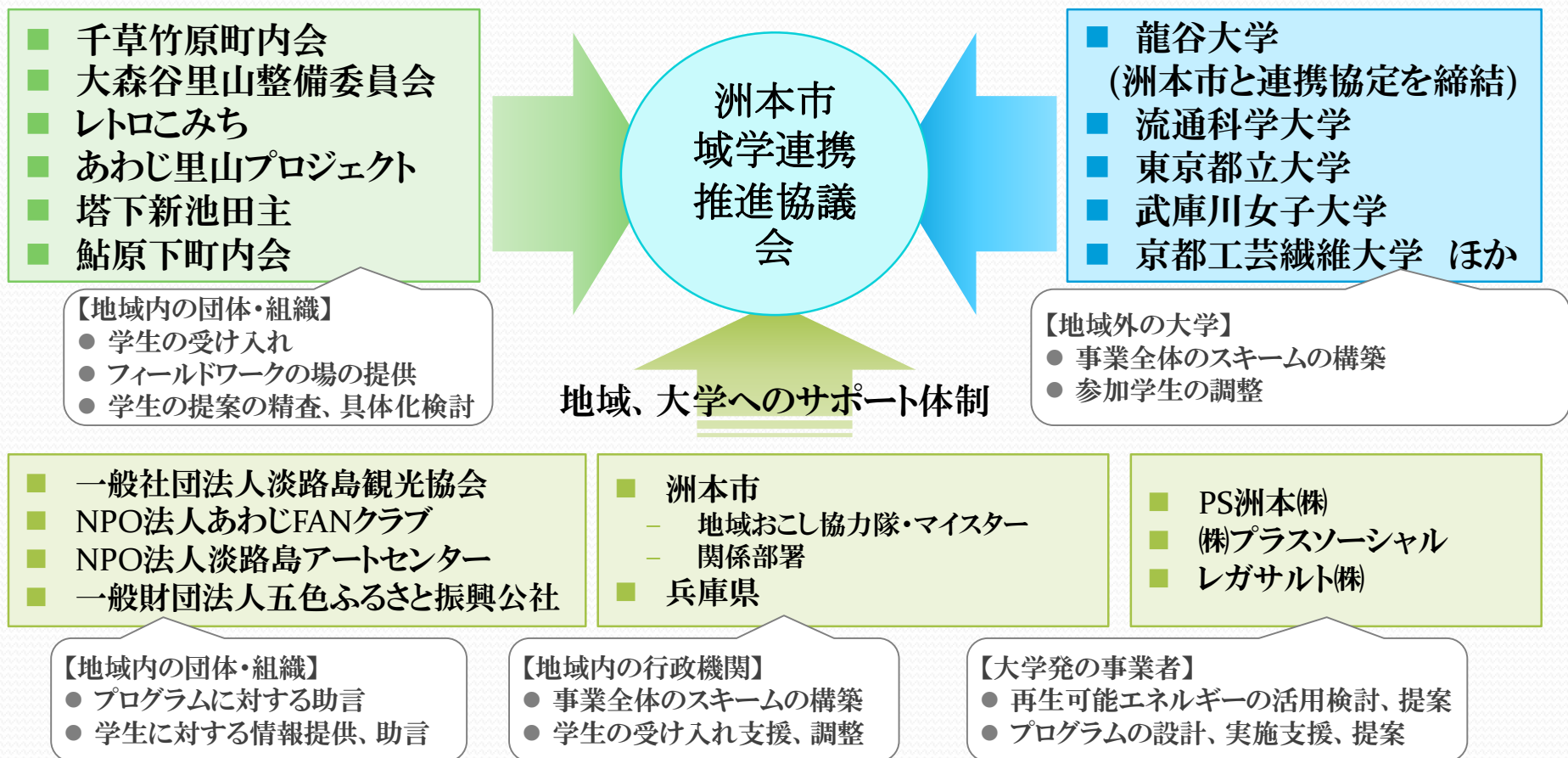
地域産業の創出・強靱化
観光を通じた地域活性化
「あわじ環境未来島特区」の実現



洲本市域学連携事業の実施体制

マルチパートナーシップ型組織

地域内の住民、行政機関、民間団体と地域外の大学、組織から構成され、多様な視点及び専門性から地域に資する持続可能な事業を検討、構築。



活動フィールド

鮎原下
ついではん

ウェルネスパーク五色
竹チップボイラー

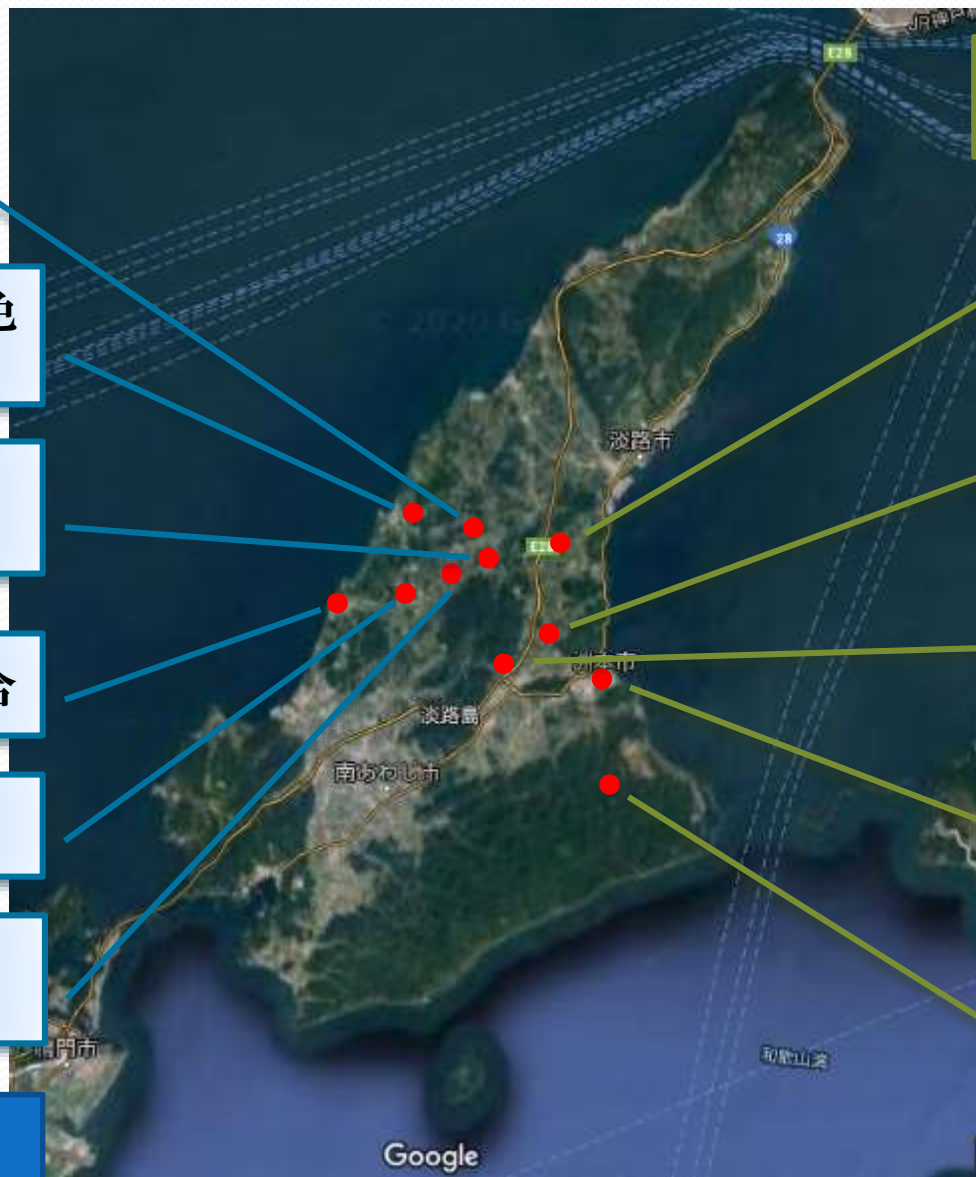
塔下新池
フロートソーラー

五色町漁業協同組合

特別支援学校跡

五色オーガニック
ファーマーグループ

五色地区



洲本地区

三木田大池
フロートソーラー

安乎
メンマプロジェクト

大森谷

洲本市役所
龍大洲本ブランチ
YORISOI米田家
レトロこみち

千草竹原

これまでの洲本市域学連携事業の実績

連携大学等	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
龍谷大学	地域の課題や魅力の発掘、ビジョン策定【鮎原、鳥飼、竹原、大森谷】		再エネ音楽祭【竹原】	かいぼり・竹伐採ツアー開催、鮎原米ブランディング【鮎原】				
		総務省の域学連携モデル地区に選定(2018)				メンマ(あわじ島ちく)商品化、販売開始【安乎、由良】		オンラインワークショップ開催 洲本分室の設置【本町】
			プラチナ大賞、新エネ大賞ダブル受賞(2017)					
PS洲本㈱				2カ所の地域貢献型ため池ソーラー発電所設置、運営【塔下、三木田】				
卒業生任意団体 大森谷里山保全隊			里山、棚田、文化等を活用した新旧住民交流や集客イベント等の企画【大森谷】					
卒業生任意団体 MEBUKI							鮎原の農産物ブランディング【鮎原】	
龍谷大学×九州大学	小水力発電施設の導入調査、設置、保守アドバイス【竹原】							
早稲田大学→東京都立大学		かつての山道等を活用したトレイルコース整備【竹原】						
京都工芸繊維大学		ついでほんの改修【鮎原下】		YORISOI米田家、特別支援学校跡の改修【本町、下堺】		商店街古民家改修【本町】		
京都造形芸術大学		ついでほんネーミング・ロゴ、五色漁協事務所巨大壁画制作【鮎原下、鳥飼】		第4回再築大賞にて最高賞受賞(2016)				
兵庫県立大学			ついでほん庭デザイン、ナルトサワギク防除試験【鮎原下、竹原】					
京都大学エスノ3ジヨウ				レトロこみちチラシ制作、イベント出店【本町】				
			蒼開高校のビジネスプランが日本政策金融公庫コンペで上位入賞(2019)				大学生地域創生会議・洲本ビジコン開催、域学連携推進計画策定	
流通科学大学							鮎屋活性化に関する調査【鮎屋】	
学生等参加者数	79	56	83	68	44	63	83	
上記以外の特筆すべきアウトカム	事業に参画した卒業生の活躍(任意団体設立2015、2019、協力隊員就任2018、マイスター就任2019)、あわじ島ちく販売開始(2020)、竹原に待望の移住者がレストランをオープン(2020)、事業成果を発信するホームページ開設(2020)、洲本分室にIT系事業者を誘致しコワーキングスペースをオープン(2020)、卒業生就職企業の誘致(2021)							

平成25年度の実績

- 重点4地域の課題、ニーズ、魅力等の発掘(龍大)
- 千草竹原小水力発電設置基礎調査(龍大、九大)
- 着地型観光の企画と、モニターツアー実施(龍大)
- 洲本市地域再生可能エネルギー活用推進条例の制定に向けた調査検討(龍谷大学)



調査検討成果発表会



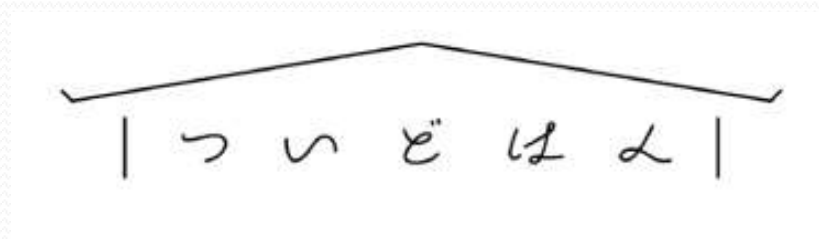
小水力発電デモ機設置体験ツアー

平成26年度の実績

- 公開講座、再エネ塾の開催(龍大)
- 大野地区菜の花まつり企画運営参画(龍大)
- 千草竹原ロングトレイル企画、補助事業申請(早大)
- 鮎原下市有古民家ロゴ案制作(京都芸大)
- 鮎原下市有古民家改修活用方法検討(京都工繊)



ロングトレイルコースの検討



鮎原下市有古民家ロゴ案

平成26年度の実績

- 域学連携協定・インターン受け入れ協定の締結(龍大)
- 重点4地域の10年後ビジョン策定(龍大)
- 着地型観光の企画実践(龍大、早大)
- 千草竹原小水力発電設置(龍大、九大)
- 地域貢献型再エネ施設設置検討開始(龍大)



オータムメッセにて「洲本まるごと丼」販売



小水力発電導水路の補修

千草竹原小水力発電システム (ヘッドタンク～ペルトン水車)

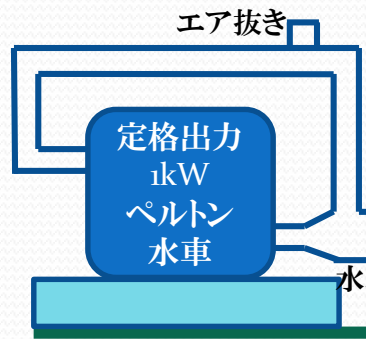


ペルトン水車(衝動水車)

ペルトン水車は、流量が少なく落差が確保できる場合に適した水車。ジェット噴射される水をランナーに当てタービンを回転させ、軸に接続された発電機が回転し電気が生み出される。ノズルの大きさ(またはニードル弁)を変えることで流量調整ができる仕組みなので、流量変動に対応可能。

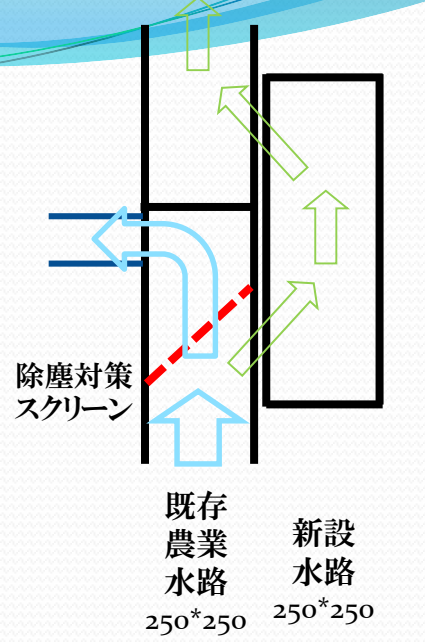


ヘッドタンクが浅いので、エア噛み対策としてエア抜き2箇所



ヘッドタンク
余水路
除塵対策

勾配の緩い水路が流速を落すため、既存水路がヘッドタンクの役割を担う。スクリーンが目詰まりした場合も、既存水路に影響を与えないために、オーバーフローした水のバイパスを新設して維持管理を簡素化。



落差損失軽減のため
VU管φ100



千草竹原小水力発電システム(全体図)



①

①防犯カメラ



②

②LEDフットライト
(道路沿いに25灯)



③

③LEDイルミネーション(1,000球)



⑤

インバータ設置箇所では、電気を直流から交流に変換し、一般の家電製品が利用可能となっている。
シキミ剪定用電動ハサミ充電や電動工具の電源に利用している。

防犯カメラ、集落内のLED照明器具は全て直流で電気供給。



⑥

⑤LED街灯
⑥1,000Wインバータ(AC100Vコンセント)

制御盤 ダミーロード
3,000Whリチウムイオン蓄電池



④

④LED街灯



ペルトン水車を回したあとの水は周辺の田へ流し入れ、外来植物(ナルトサワギク)を死滅させる試験を実施。再生後はワサビやレンコンの栽培を目指す。

ペルトン水車

既存水路
圧力管

小水力発電による竹原集落活性化ビジョン【龍谷大学・九州大学】

集落の自然環境を生かした
再生可能エネルギー施設を導入



クリーンな
エネルギーを
集落内に
供給

ペルトン水車
&蓄電池
&直流送電
小水力発電システム

20kW小型風力発電
&50kW太陽光発電
施設

集落の暮らしを
より明るく、安心安全に



電動農機具充電



電動アシスト自転車
電動スクーター充電



イルミネーションや
防犯灯の電源



病害虫防除
黄色灯電源



シカ・イノシシ用
電気柵の電源

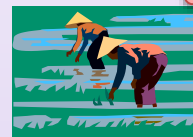


防犯カメラ
の電源

再生可能エネルギーを活用した
集落の活性化、産業振興



視察者や観光客誘致
グリーンツーリズム



新たな特産品開発



観光農園とのコラボレーション

平成27年度の実績

- 再エネ電源による音楽祭の開催(龍大)
- 龍大OBらが「里人(rijin)」を設立し、独自の活動開始(龍大)
- 千草竹原ロングトレイル、モニターツアー(早大)
- 鮎原下市有古民家ついではんDIY改修(京都工繊)
- 五色町漁協事務所壁面での巨大壁画制作(京都芸大)



竹原での再エネ音楽祭



漁村活性化のシンボル、巨大壁画

平成28年度の実績

- 産官学金連携協定の締結による地域貢献型再エネ事業の推進体制の構築と、塔下新池ため池ソーラー発電所竣工(龍大)
- 地元企業と大学の連携による、かいぼりツアー開催(龍大)
- 千草竹原ロングトレイル、ツアー完成(早大)
- 鮎原下市有古民家ついではんDIY改修完了(京都工繊、県立大)



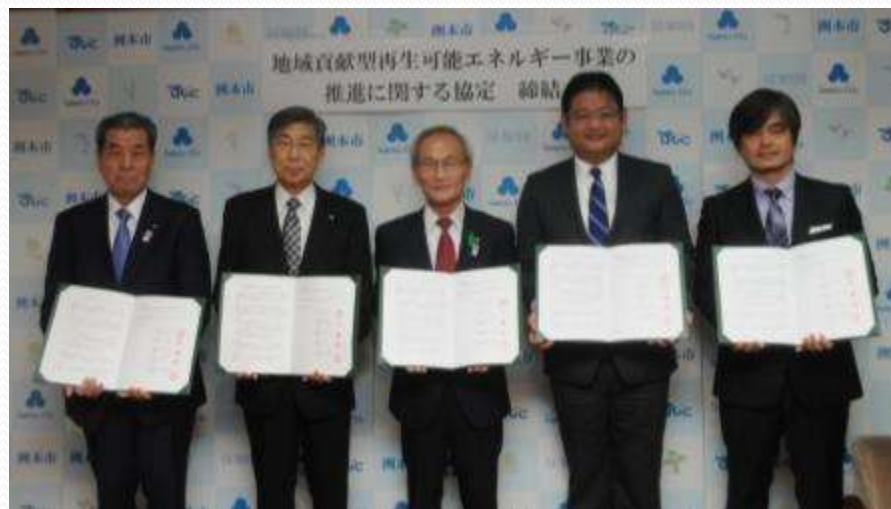
竹原トレイル初の1泊2日ツアー



かいぼりツアーに淡信職員も参加

“地域貢献型再生可能エネルギー事業の 推進に関する協定”の締結【龍谷大学】

洲本市、淡路信用金庫、淡陽信用組合、PS洲本株式会社、龍谷大学の5者は、再生可能エネルギーを活用した発電事業によりもたらされる恩恵が地域の活性化や課題解決に資する「地域貢献型再生可能エネルギー事業」を推進し、豊かで自立した持続可能な地域社会の実現を図るため、相互に協力・連携することとする“地域貢献型再生可能エネルギー事業の推進に関する協定”を締結（H28.11.8）。産官学金連携の第一号モデルとして塔下新池ため池ソーラー発電所の設置につながった。



洲本版地域貢献型 再エネ発電事業のスキーム【龍谷大学】

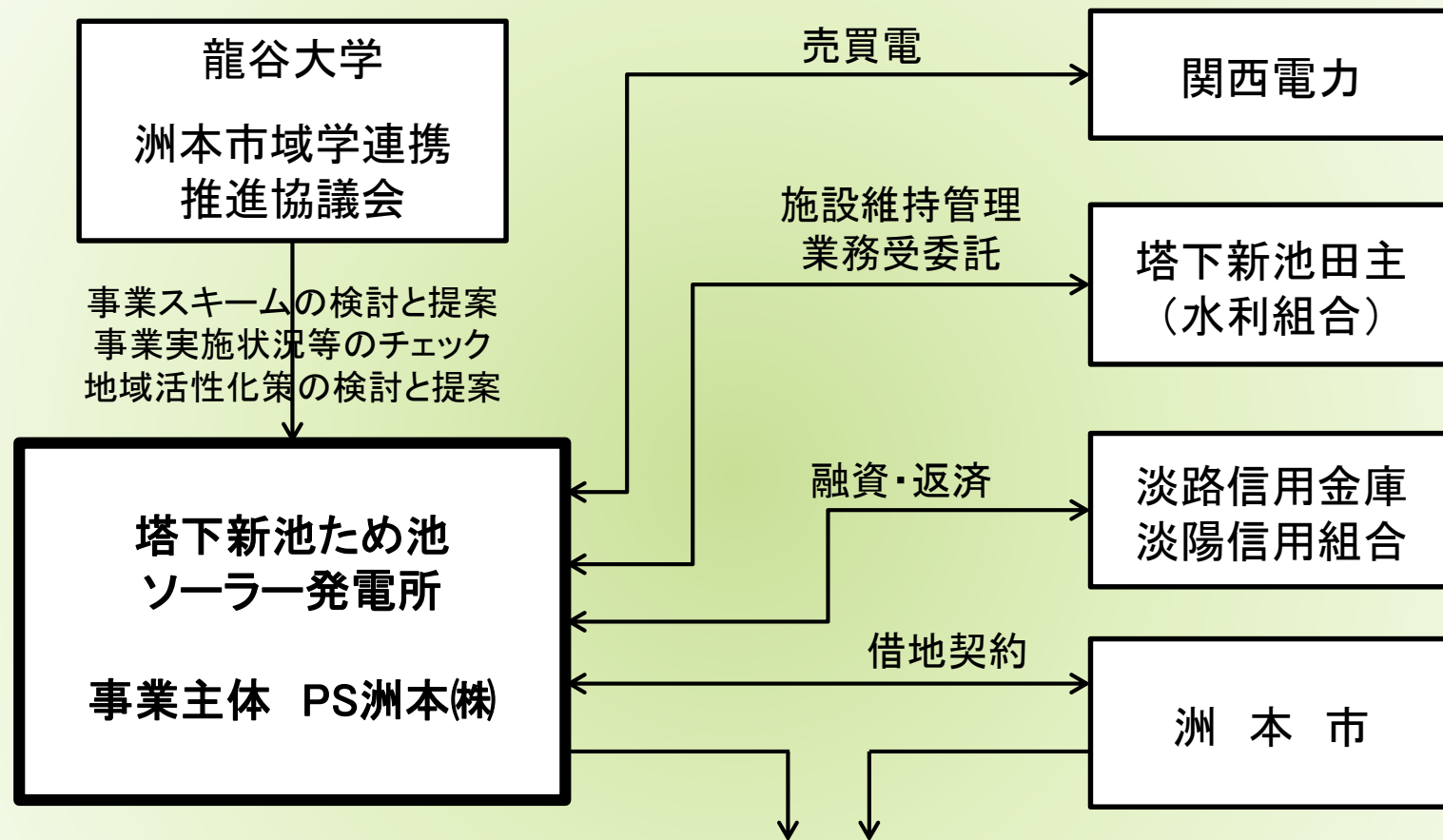


塔下新池ため池ソーラー発電所の概要



- 所在地 洲本市五色町鮎原塔下1596
(満水面積0.3ha)
- 設置規模 72.8kW
(出力50kW、設置面積0.1ha)
(災害時等は電源に利用可能)
- 事業費 22百万円
- 事業期間 21年
(設置・撤去期間含む)
- 年間発電量 8.6万kWh
(約24世帯分の消費電力量に相当)
- 事業主体 PS洲本(株)
- 竣工 平成29年1月

塔下新池ため池ソーラー発電所の概要



売電利益は、PS洲本(株)と洲本市で協議し決定した農山漁村活性化策等に活用する

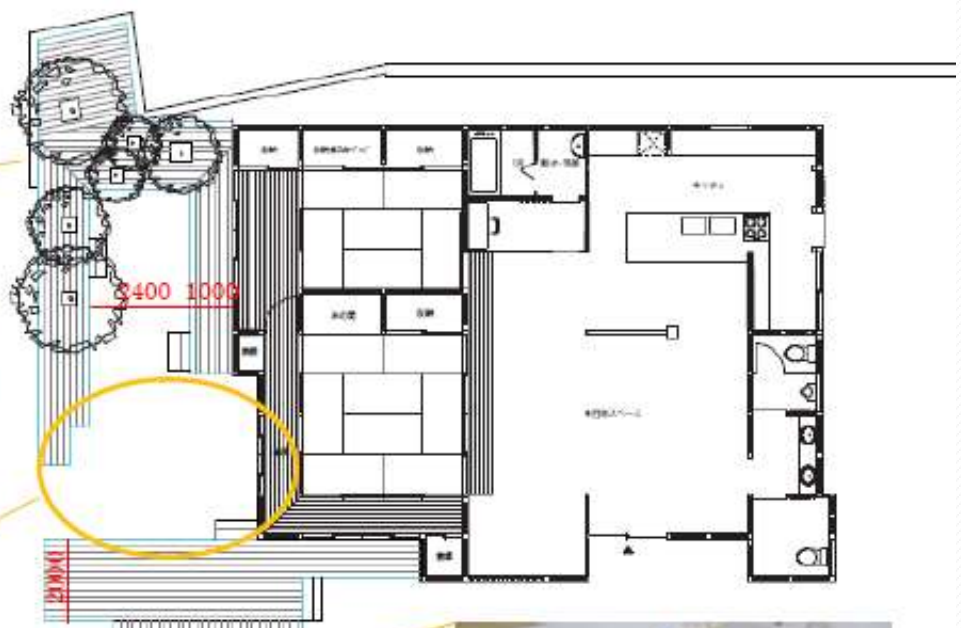
ついでほん改修計画抜粋【京都工芸繊維大学】

【里床】

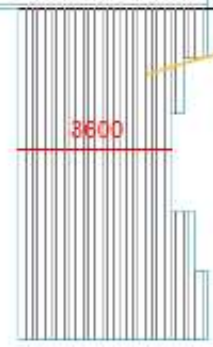
外部デッキ(里床)の現在のプランです。今後も話し合いを重ねてより良い案を作っていく予定です。



残っている樹木を残しつつデッキを巡らせました。向かい合ってデッキに腰掛ければ外部に団らん空間が生まれます。また、使い方によってはプライベートな空間にもなりうると思っています。



和室、縁側、庭という日本らしい並びを意識した空間です。縁側に座ると、のどかな風景が見渡せます。デッキを途中で切り離したのは、外部からの動線が引き込めるのではないかと考えたからです。



大きく張り出した部分は、眺望もよく、机を並べてカフェスペースの延長として使えます。またイベント際は、舞台としての役割も果たし、多様な空間となります。

ついでほんが「第4回再築大賞」最高賞受賞【京都工芸繊維大学】



平成29年度の実績

- 龍谷フロートソーラーパーク洲本竣工(龍大)
- 地域貢献型再エネに関する取組が評価され、新エネ大賞、プラチナ大賞を受賞し、淡信助成事業に採択(龍大)
- 塔下新池ため池ソーラー周辺を対象とした調査結果を「TOUGE～塔下地域の未来にむけて～」にとりまとめ(龍大)
- 漁業体験(アルバイト)を組み込んだフィールドワーク(龍大)
- 再エネや竹にスポットをあてた音楽フェス企画(龍大)
- 千草竹原ロングトレイルコースDIY改修ツアー実施(首都大)
- 旧米田邸改修事業への参画(京都工繊)

第5回プラチナ大賞
優秀賞受賞

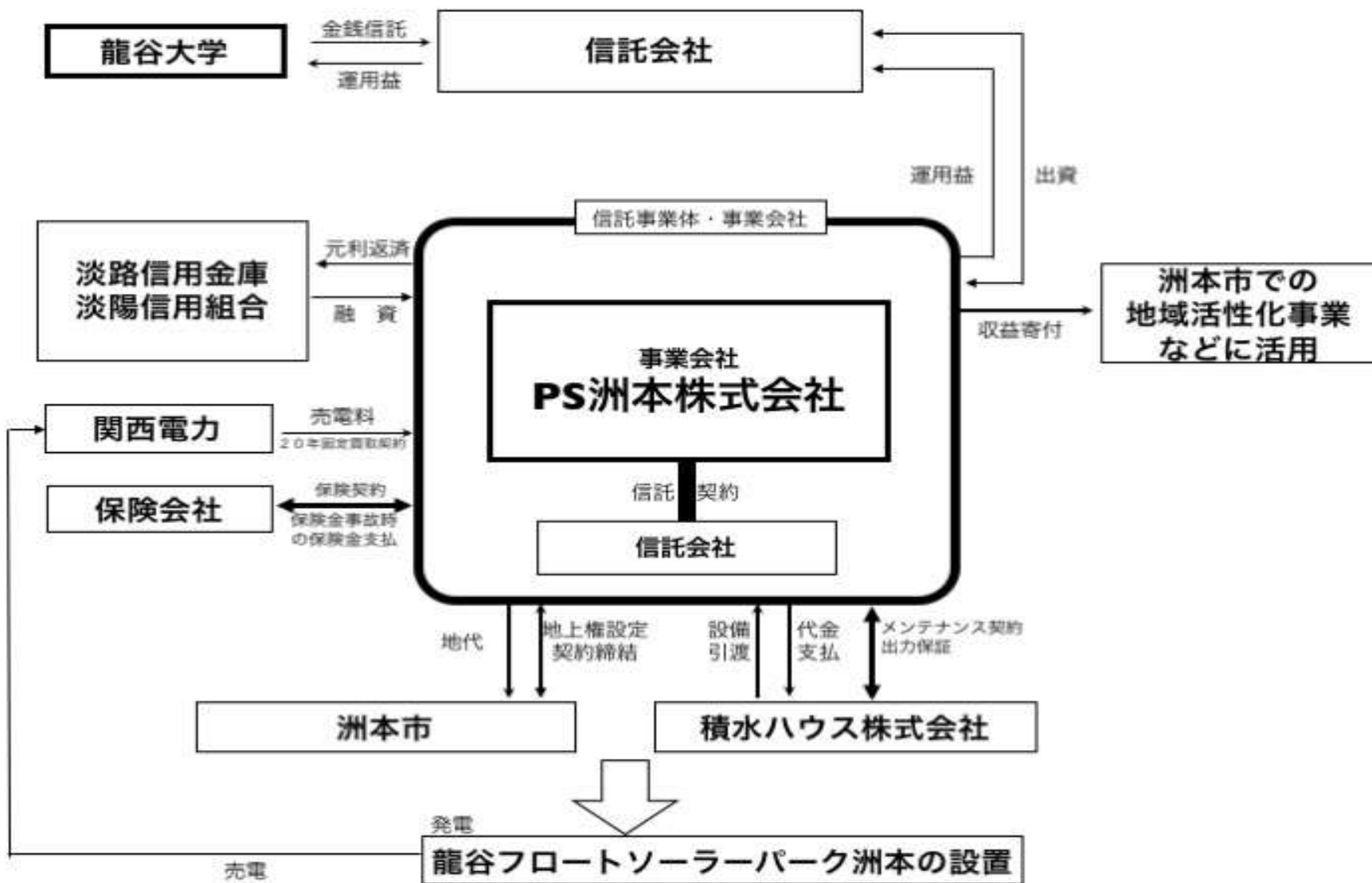


龍谷フロードソーラーパーク洲本の概要



- 所在地 洲本市中川原町三木田1242-1
(満水面積4.8ha)
- 設置規模 1,706kW
(出力1,500kW、設置面積1.8ha)
- 事業費 約7億円
- 事業期間 21年
(設置・撤去期間含む)
- 年間発電量 約207万kWh
(約570世帯分の消費電力量に相当)
- 事業主体 PS洲本株
- 竣工 平成29年9月

龍谷フロートソーラーパーク洲本の概要



竹原トレイルの取組がトヨタ財団助成事業に採択【首都大学東京】



平成30年度の実績

- 竹林伐採ツアー開催、学生目線のサイクリングマップ制作、再エネや環境にスポットをあてた音楽フェスへの出店(龍大)
- 塔下新池田主との連携による鮎原米ブランディングプロジェクトとして「鮎原米ワッフル」の開発と販売(龍大)
- 特別支援学校跡地の改修(京都工繊)



鮎原米ワッフル販売



竹林伐採ツアー

平成30年度の実績

- ロングトレイルや小水力発電など、域学連携の取組が評価され、竹原町内会が井植文化賞(地域活動部門)を受賞
- 千草竹原ロングトレイルコースPR動画制作(首都大)
- 成果報告を交えたシンポジウムの開催(関係校)
- 千草竹原集落将来ビジョン「持続可能な千草竹原を目指して～小さな村の大きな挑戦～」の策定(龍大)



洲本市×6大学連携シンポジウム



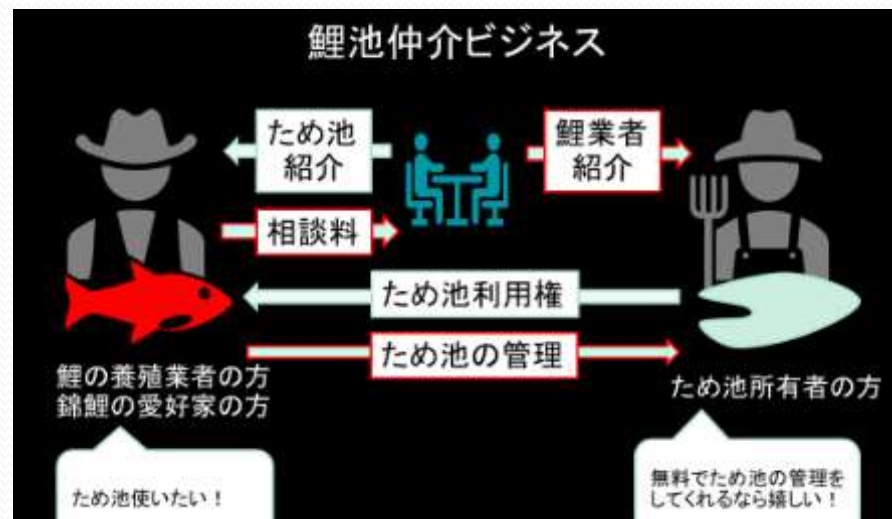
竹原トレイルPR動画のワンシーン(ゴール地点)

令和元年度の実績

- 特別支援学校跡ドミトリーが完成(京都工繊)
- YORISOI米田家改修完了(京都工繊)
- 蒼開高校の「鯉池仲介ビジネス」が、第7回高校生ビジネスプラングランプリ(日本政策金融公庫主催)にてベスト100入賞(京大)
- 洲本市域学連携推進計画の策定に着手(京大ほか)



完成したドミトリー



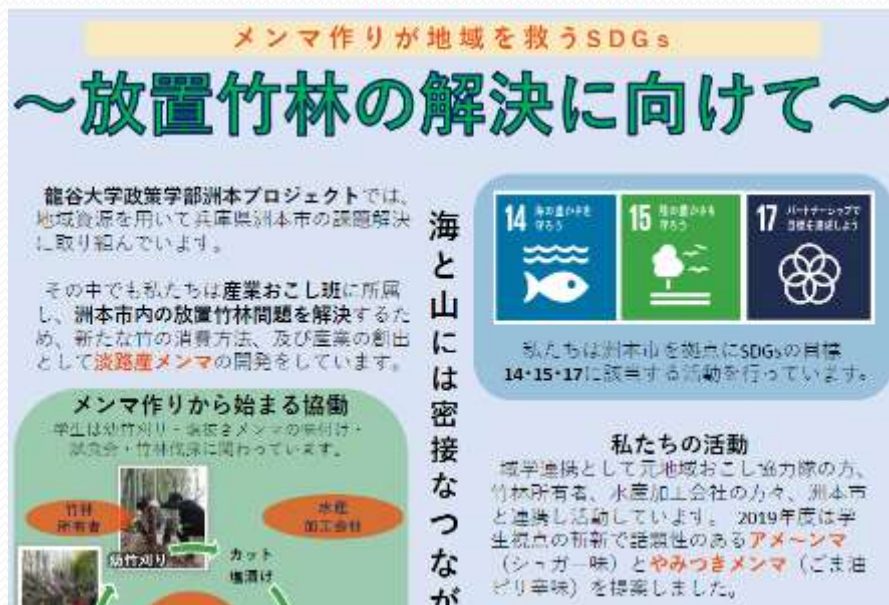
蒼開高校「鯉池仲介ビジネス」概要

令和元年度の実績

- 千草竹原キャンプ場PRチラシ制作(龍大)
- 放置竹林対策として、メンマの商品開発と、メンマづくりをSDGsに位置付け(龍大)
- 洲本市域学連携事業が評価され、ふるさとづくり大賞において総務大臣表彰(地方自治体表彰)を受賞



メンマ原料となる幼竹の伐採作業



龍谷大学SDGsポスター(抜粋)

令和2年度の実績

- 総務省の関係人口創出・拡大モデル事業に採択され、オンラインワークショップ「おもしろい学校」を開催、域学連携活動等を紹介するホームページ「バンカランカ」を開設、域学連携卒業生と繋がり直すための「メーリングリスト」を作成
- 「龍谷大学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター洲本ランチ」を洲本商議所1階に開所（龍大）



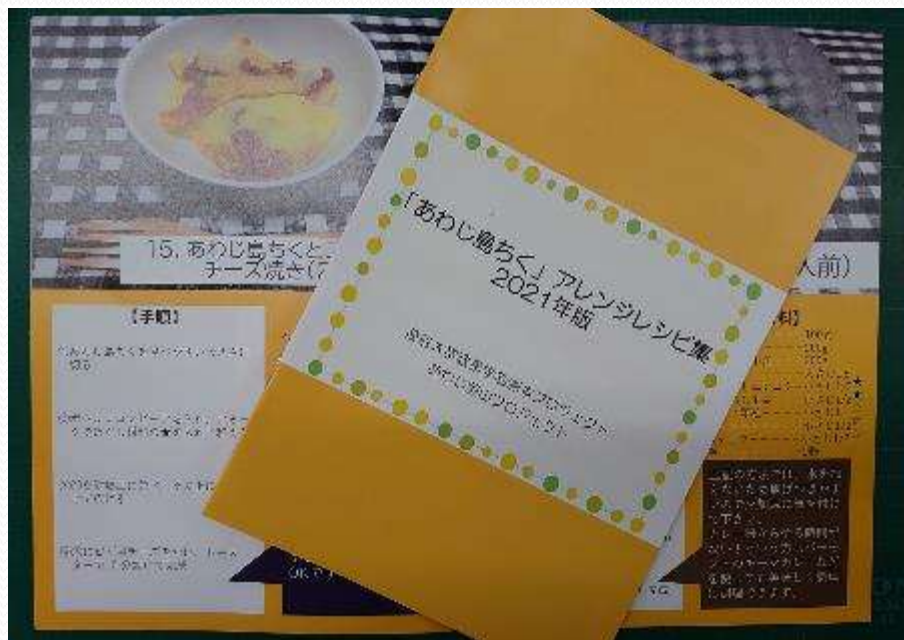
洲本ランチはコワーキングスペースとして開放



多くの有名講師が登場した「おもしろい学校」

令和2年度の実績

- あわじ島ちくアレンジレシピ集制作(龍大)
- 1809団体が参加した「第6回学生団体総選挙」の地域活性・地方創生部門(10部門のうち1部門)でグランプリ受賞(京大ほか)
- 不法投棄対策兼竹原トレイル紹介看板制作(東京都立大)



16種のあわじ島ちくアレンジレシピを掲載



トレイルコースがあるからゴミを捨てないで
と呼びかける看板

令和3年度の洲本市の活動方針

- コロナ禍により従来の「学生が地域に入る域学連携」が実施しづらい状況が続くが、このピンチをチャンスととらえ「withコロナ時代の【域学連携2.0】」に進化させる
- 現役学生だけでなく、過去に洲本市で域学連携を経験した卒業生や、卒業生が就職した企業等と連携する
- 「龍谷大学YSBRC洲本ブランチ」を拠点に、地域課題解決型の新たなビジネスを生み出したり、2カ所の地域貢献型ため池ソーラーの売電利益の有効活用を図る
- レストランと宿泊施設がオープン予定で、地域専属協力隊員が住み込む「竹原」を、モデル集落として一気に押し上げる
- 卒隊まで約1年となった洲本PJOB谷口隊員が洲本市で定着できるように支援する
- おもしろい学校で生まれた3つのリードプロジェクトを実現させる

令和3年度の洲本市の活動方針

おもしろい学校 PJの今後の展開

おもしろい学校 | 淡路島洲本市

SUMORROW!

スモロー!

“おもしろい学校”・・・
おもしろいプロジェクトをオン
ラインとリアルで生み出し続
ける「おもしろい総本山」
(域学連携活動も含まれる)

現地での
おもしろい学校PJの推進

島の編集室

SENKA

(龍谷大学洲本ランチ、ワーキングスペース)

オンラインでの
おもしろい学校PJの推進

パンカランカ

洲本のおもしろい数珠つなぎ

学ばんか
PJ①
おもしろい
種

作らんか
PJ②
拠点整備

遊ばんか
PJ③
名もなき
観光

関係人口と地域住民を
オンラインとリアルで
「ヨッ者ー!※」にする

起業支援
稼がんか

小水力発電
改修
直さんか

トレイル
コース整備
歩かんか

ヨッ者ー!化

地域の
住民
団体
企業

ヨッ者ー!化

ホームページとメーリング
リスト (メールマガジン)
による、おもしろい学校
PJの発信と、双方向交流

関係人口・現役学生・卒業生・民間企業など

※ヨッ者ー! : おもしろい学校PJに「よっしゃ、やったろ」と応え、関わる人々の呼称

市、域学連携推進協議会、洲本未来づくり基金が推進・支援